

JAAS News 第139号をお届けします

一般社団法人シニア社会学会・事務局 2011年1月24日

＜ もくじ ＞		ページ
年頭のご挨拶		1
1. 2010年度連続講座・第6回（最終回）講座の参加申し込み受け付け中		1
2. 第10回大会における「会員の活動事例発表&研究テーマ発表」募集		3
3. 会員や学会の活動情報		3
4. 研究会のご案内		3
5. シニアニュース		4

年頭のご挨拶

シニア社会学会会長・袖井孝子

新年明けましておめでとうございます。

シニア社会学会が一般社団法人化して1年。新しい段階に向けて、会員との連携をいっそう強めることを今年の目標にしたいと考えております。その一つが、会員活動の「見える化」です。会員の中には、資格や特技をお持ちの方、あるいは地域のリーダーとして活躍していらっしゃる方がたくさんいます。会員のもつ知識や経験をホームページやブログを通じてひろく公開し、会員相互で情報を共有することで、シニアが社会に貢献できるような新しい活動や事業を展開していくつもりです。

「見える化」推進の一環として、昨年からはブログ講座を始めました。現在は、月1回「新宿ブログ村」を開設しています。今後は、ブログをさかんに、会員の相互交流の場としても活用していきたいと思っております。ブログはちょっと、と躊躇されている方もどンドンご参加ください。

いくつかの財団から助成金を得て実施中の「ICT利用による高齢者の社会的孤立化防止プログラム」も、都内の団地をフィールドに社会調査と社会実験が進行中です。その成果は、3月26日（土）午後にお茶の水女子大学で報告の予定です。ふるってご参加ください。

卯年の今年が、シニア社会学会にとって、いっそうの飛躍の年になるよう願っております。



1. 2010年度連続講座・第6回（最終回）講座の参加申し込み受け付け中

◆今回の第6回講座で最終回です。2月5日（土）開催となります。◆

テーマ：「新しい働き方」

講師：古村 伸宏（日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会専務理事）

（講演要旨）

人はなぜ働くのか？深刻な経済の停滞は、人間の生きる営みを問い直す機運も呼び起こしています。日本型雇用システムが崩壊し、様々な雇用形態がつけられました。働くことは、もっぱら自己へと押し込められ、その意味は個人の価値に委ねられています。一方で、経済危機と共に噴出した「雇用破壊」は、人々の生活や人生も飲み込んでしまいました。社会は「孤立」と「無縁」が蔓延し、孤独に彷徨う人々を生み出し続けています。社会の成り立ちを根本から問い直す時を迎えている今、人はなぜ生き、人々はなぜ働き、社会を構成するのか？

生命と社会の本質から見た、「新しい働き方」を、「協同」というキーワードで考えます。

1) 場 所：東京銀座資生堂ビル 9F ホール（中央区銀座8-8-3）

<http://www.shiseido.co.jp/ginzabld/html/map.htm>

2) 開催要領：14時～16時の開催（開場13時30分）。募集人数は最大45名。

参加費は、会員2500円、非会員3000円。

（ティータイムに季節のケーキとコーヒーor紅茶が付きます）

※お申し込みは、①氏名（会員、非会員）、②参加の講座No.、③連絡先 を明記の上、
eメール（jaas@circus.ocn.ne.jp）か、FAX（03-5778-4728）で事務局まで。

（HP掲載の「パンフレット」もご参照ください <http://www.jaas.jp/>）

※参加費は、当日、会場にてお支払いください。

※ご家族やご友人などにもお声掛けをお願いいたします。多数の方のご参加をお待ちしております。
（事務局担当 鈴木記）

第5回講座「人生は旅：四国八十八ヶ所めぐり」 講師：長田 攻一

参加者の感想

①中山 清輝さん（非会員・調布市）

小生もここ数年、京都奈良のみならず坂東や西国の観音、湖北の観音や湖東・湖南の古寺、丹後・若狭の古寺などを巡ってきましたが、四国八十八ヶ所にはご縁がありませんでした。

今回学会から講座のご案内をいただきそこに書かれていた「現代人の一定の割合を占める人々が、お遍路という行動を選択する理由の一端を、四国の自然や文化、四国遍路を支える特異な社会文化的仕組みのなかにさぐりつつ……」の部分に惹きつけられました。

長田先生のお話は「巡礼とは何か」に始まり「現代人にとっての……」までの極めて内容豊富でスライド解説つきのものであり、それぞれのパートでなるほどと理解が進みました。ただ小生が特に興味と関心を持っていた「4.自分なりの遍路の創造」や「まとめ：現代人にとっての四国遍路」の部分のお話が十分でなかったように思いました。

2時間という短い時間内で、しかも聴講者の遍路や巡礼にかかる知識経験のレベルが未知の状況での講演ですから巡礼の定義や形態に解説が偏ったのは致し方なかったとも思います。次の機会には「現代のさまざま遍路たち」やまさしく「現代人にとっての四国遍路」に重点をおいたお話を聞きたいものと切に望みます。

②杉 一浩さん（非会員・調布市）

現役時代に海外駐在体験を含めて長く Global ビジネスに関わってきた事もあり、異文化理解には、その文化や思想の歴史的背景を勉強する必要があると言うのが持論である。

見知らぬ土地への旅が個人的な趣味でもあり、好奇心が強い性格も相まって、何故多くの人が四国遍路に出掛けるのかに前から興味を持っていた。今回、社会学と言うアプローチで、その動機や魅力を分析的なデータも含めて勉強できるのではとの期待を持って本講座に参加したが、十二分に満足できる内容であった。

現代社会における巡礼の背景の学術的解説の後で、四国巡礼（遍路）に付いての歴史や現状、巡礼用品の菅笠、金剛杖、白装束の意味などの興味深い説明があり、現代お遍路の動機や魅力を垣間見る事が出来た。講師の長田先生の話の中で特に興味を挽かれたのは、四国4県の海辺の道を順番に巡ると言う曼荼羅的な通過儀礼の意味づけ。1番札所から始まる阿波の幼年期の発心道場、以降は時計回りに青年期の土佐から壮年期の伊予へ、最後が老年期の讃岐と人生遍路の修行プロセスに準えて、阿波では後半に山越えの難路が、土佐では一日歩いても次の寺に着かない距離を歩き、最終の讃岐では円形のなだらかな山々を見ながら俗世界に帰還するなど、八十八ヶ所を車の力を借りてもでも全数巡る事の意味が何となく解る気がした。

小さな美しい村の活性化をライフワークにしている関係もあり、この四国巡礼が地元の「集客で稼ぐ」というモデルに繋がれないかという視点で話を聞いていたが、年間十万人は如何にも少ないと思えた。

巡礼路を世界遺産に登録する計画もあると聞いたが、四国4県の巡礼路は異なる魅力や歴史的背景など、当に多様で懐の深い代表的な日本の文化遺産であると思われる。世界文化遺産登録は、ともすれば足並みの揃わない四国四県の文化的な統合シンボルとしてのソフトパワー発揮の絶好の機会に成るのでは無かろうか。時間が足りなく、社会学研究対象としての遍路対象者の調査分析資料や個別インタビューによる追加調査の説明が聞けなかったのは残念だった。

2. 第10回大会における「会員の活動事例発表&研究テーマ発表」募集

2011年5月の第10回大会において、会員各位より、活動事例または研究テーマについてのご発表をいただくプログラムを予定しています。発表者募集の要領は、以下のとおりです。

①活動事例および研究テーマについて：未発表のもので、内容は当学会が指向するエイジフリー社会の実現にかかわるもの。

②発表時間：質疑応答を含め、10分以内に収めていただきます。

③応募要領：報告要旨をA4用紙1枚にまとめ、3月23日（水）までに当学会事務局宛に郵送・FAX・Eメールいずれかの方法でお送りください。

※運営委員会での選考を経て、3月下旬頃にあらためてご依頼の通知をさせていただきます。

3. 会員や学会の活動情報

「シニアのICT活用研究会」が1月例会を行いました。内容は第2回の新宿ブログ村として、ブログ活用の質疑と活用事例交流です。参加は11人。うち非会員3人。研究会初参加4人。男女半々と今後が楽しみな研究会でした。話題提供者として地域ブログポータル「たまりば」の運営者大熊雅樹氏から、最新のブログがコミュニティビジネスを推進する事例、浜松地域での蜂蜜パン開発・販売が報告されました。最近のfacebook,動画発信に関する情報交換も行われました。

次回研究会（新宿ブログ村）は2月14日（月）17時半から、ダイヤ財団会議室（新宿御苑前駅）で開催されます。参加費500円で誰でも参加できます。詳細は当会のホームページのV-JAASブログ <http://v-jaas.blog.so-net.ne.jp/> でご案内します。問合せは、info-vjaas@led.co.jp まで。

4. 研究会のご案内

(1) 第47回社会保障研究会のご案内

- 1) 日 時 : 1月27日（木） 18時～
- 2) 場 所 : 高齢協連合会会議室（要町光文社ビル6階）
- 3) 報告者 : 荒井浩道（駒澤大学准教授）
- 4) テーマ : 「ケアする家族への支援ー認知症家族会における支え合いの技法」
参加ご希望の方は、事前に事務局宛ご連絡下さい。

(2) 第9回「21世紀の倫理」研究会のご案内

- 1) 日 時 : 2月15日（火） 16:30 ～ 19:30 （※時間変更にご注意ください）
- 2) 場 所 : 早稲田大学国際会議場4階第7共同研究室
- 3) テーマ : 問題提起と討議

問題提起①：「倫理とは何か」 — 安田和紘氏

問題提起②：「21世紀はどんな社会か」 — 大木壯次氏

4) その他 : 研究会参加費として300円を徴収させていただきます。
お問い合わせ等は、事務局島村までお願い致します。

5. シニアニュース

ナルク市民（成年）後見人養成講座（関東地区）開催のご案内

団体会員であるNALC（NPO法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ）さんが主催する標記講座が、2月16日(水)から5回シリーズで開催されます。講座参加費（テキスト代込み）5,000円。参加申し込み期限は、1月31日(月)。詳しくは、ナルク東京拠点事務局までお問い合わせください。

電話03-3471-4320

<p>一般社団法人シニア社会学会・事務局（月・水・金オープン） 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階 電話&FAX：(03) 5778-4728 E-mail：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：http://www.jaas.jp/</p>
--